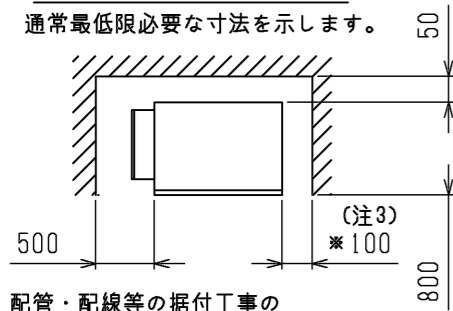
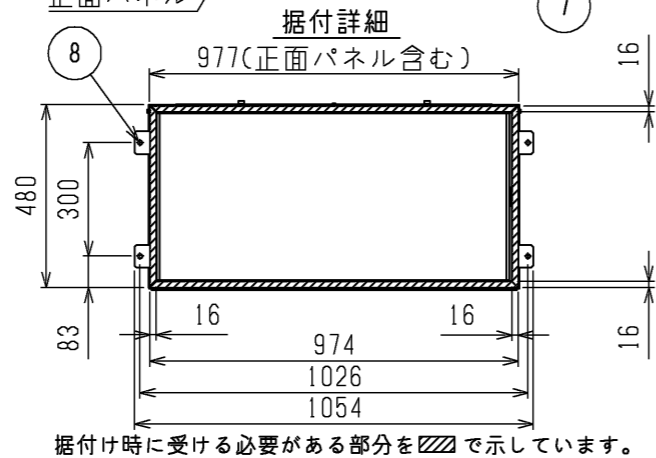
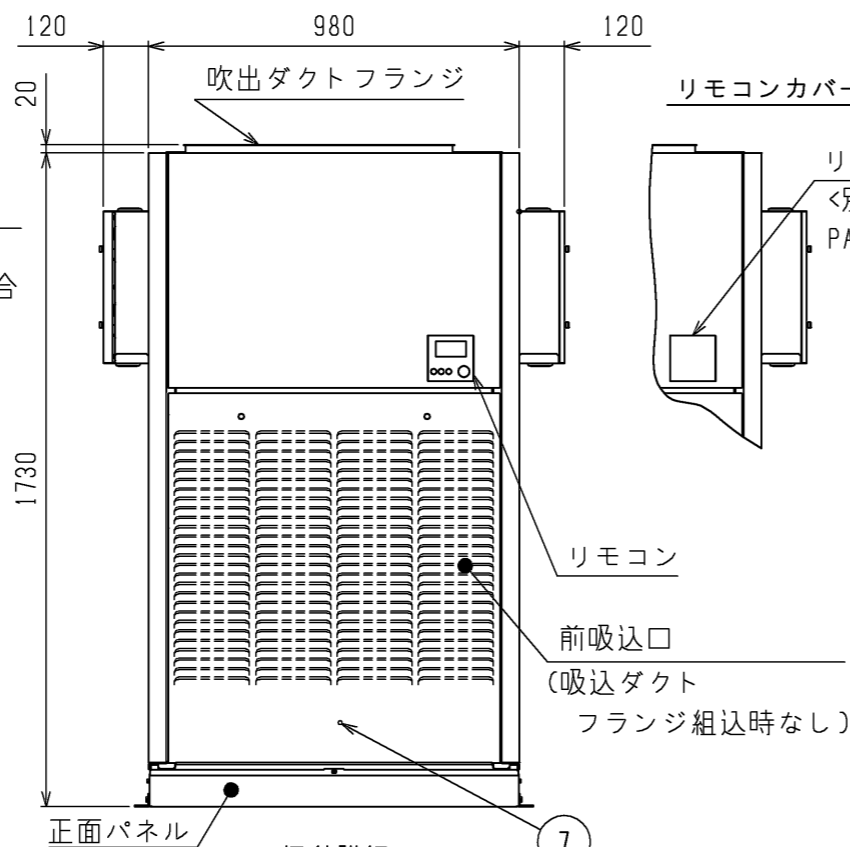
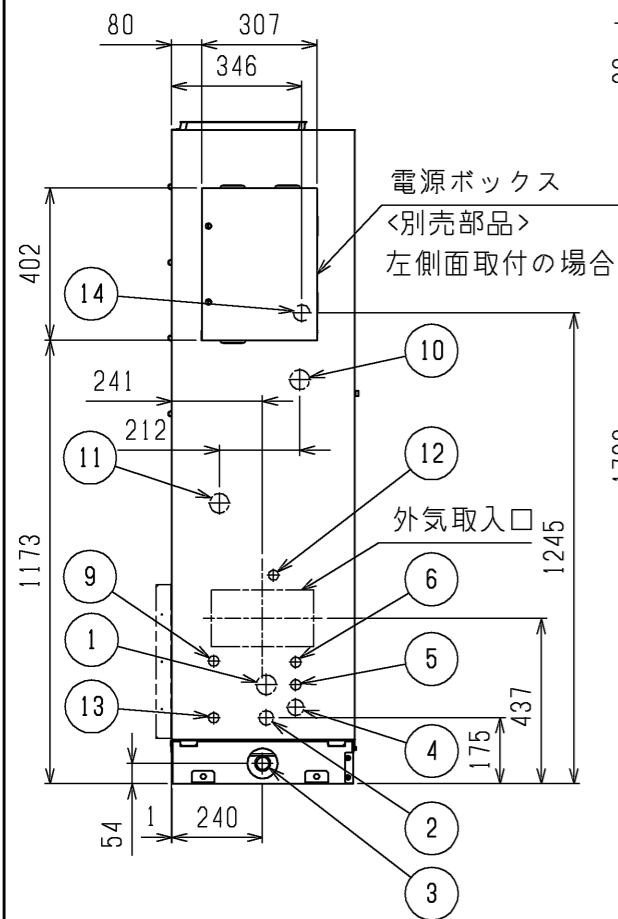


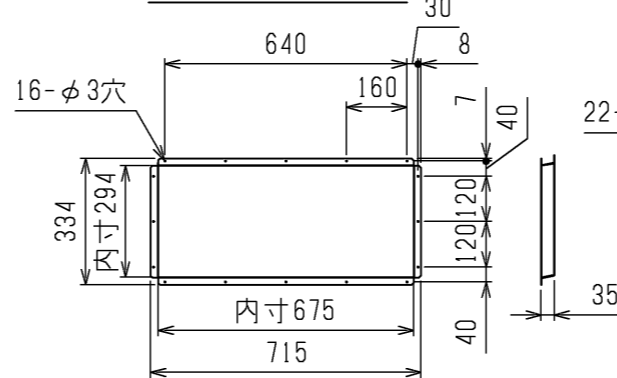
通風・サービススペース
通常最低限必要な寸法を示します。



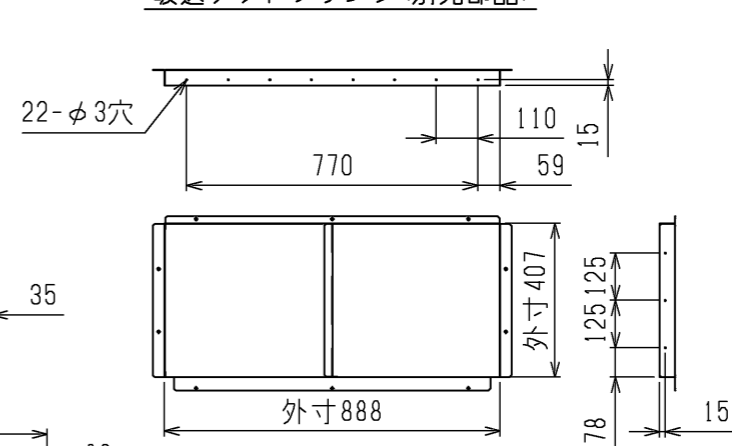
配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
*電源ボックスを右側面に取付け時は500mm必要になります。



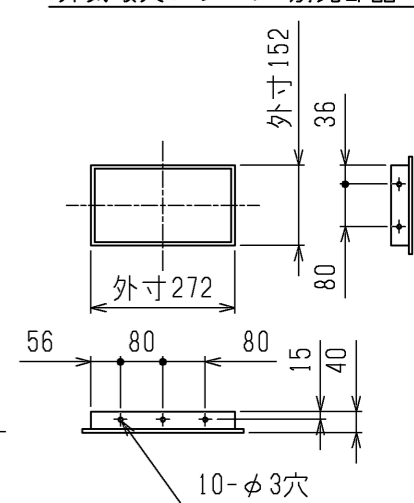
吹出ダクトフランジ



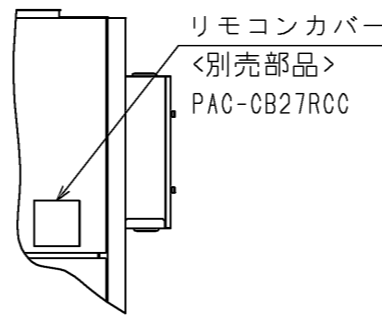
吸込ダクトフランジ<別売部品>



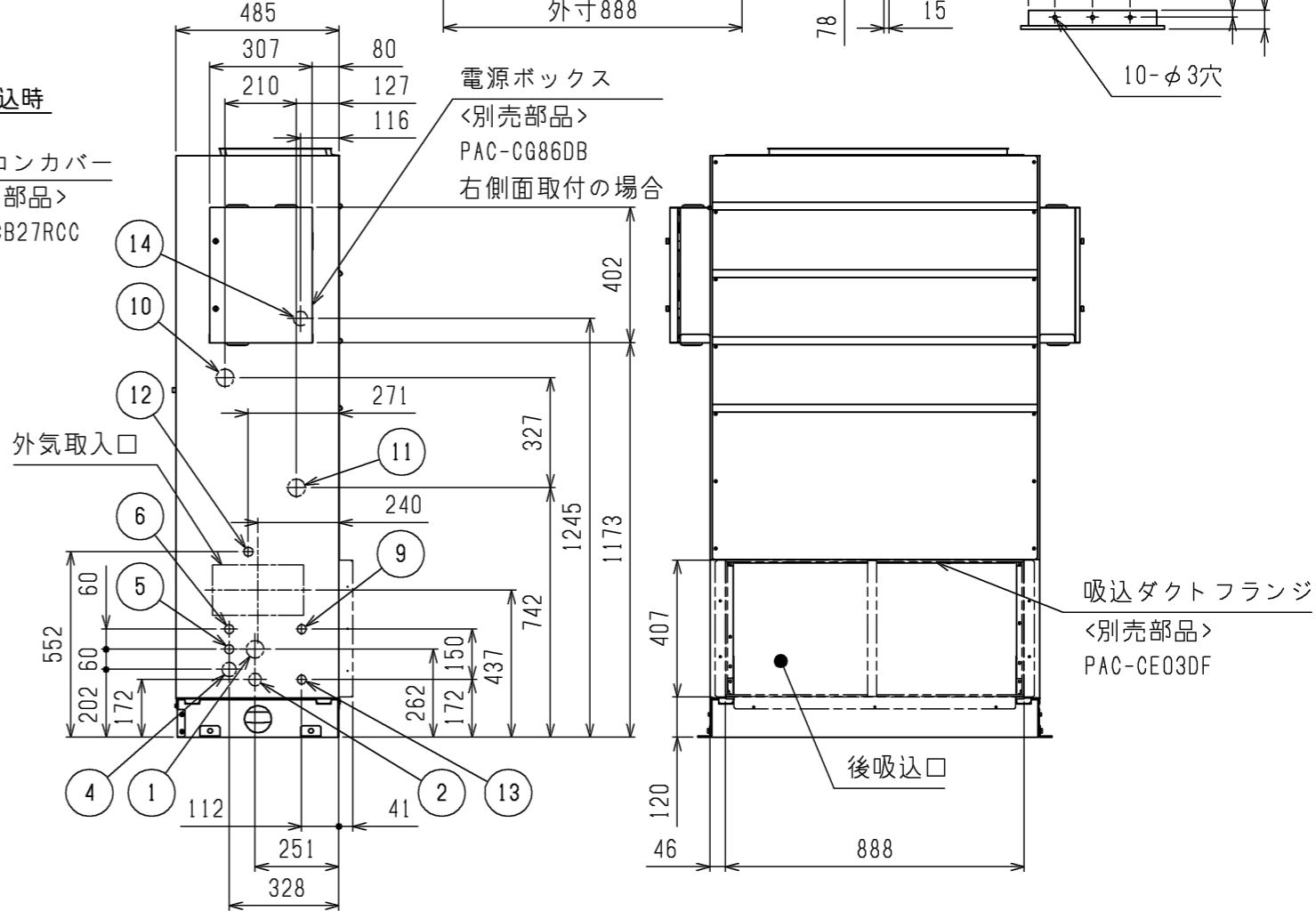
外気取入フランジ<別売部品>



リモコンカバー組込時



電源ボックス
<別売部品>
PAC-CG86DB
右側面取付の場合



- 注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
3. 熱交換器の交換など重サービス時にはユニットの移動が必要となります。ユニットの移動ができない場合は両側面に500mmのスペースを確保して施工してください。
4. ドレンパンのドレン管は、工場出荷時は左取出しとなっています。右取出しにする場合は、ドレンパンを取外して向きを変更してください。
5. 電源ボックスは現地取付けのみの対応となります。
6. 電源ボックスと遠方操作キットは異なる側面に取付ける必要があります。
7. 蒸気・温水ヒーター、電源ボックスは、PUHV-HP224・280DMJと接続時は使用できません。

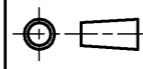
電源ボックス組込

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>・・・P224形：φ19.05ろう付・P280形：φ22.2ろう付	8	基礎ボルト穴・・・4-φ12
2	冷媒配管<液>・・・φ12.7ろう付	9	加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン：R $\frac{1}{2}$ 、蒸気スプレー：Rc $\frac{1}{2}$)
3	ドレン穴・・・Rp1	10	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気入口・温水出口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ：R1 $\frac{1}{4}$)
4	装置電源穴・・・φ43ノックアウト穴	11	蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気出口・温水入口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ：R1 $\frac{1}{4}$)
5	電線穴・・・φ27ノックアウト穴	12	加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(水スプレー：R $\frac{1}{2}$)
6	室内外連絡線穴、伝送線穴・・・φ27ノックアウト穴	13	加湿器配線穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーパン、水スプレー、蒸気スプレー)
7	アース端子(制御箱内に設置)・・・M5ねじ	14	遠方操作キット配線穴・・・φ43ノックアウト穴

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
DIM. mm	18-02-14	23-02-10	床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-XP224・280DMJ
SCALE NTS	三菱電機株式会社		DRW.NO. W KQ94T431
		REV. D	PAGE 1/1

- 注1. 伝送線は全て2線式で極性がありません。
2. ◎印はネジ端子台、□印は基板差込みコネクタを示します。
 3. 室外電源配線は、端子台TB 1 に接続してください。
 4. 伝送線（シールド線）のシールド側は必ず室外ユニットのアース端子に接続してください。
また、各室内ユニットへの渡り配線（伝送線）とM-NETリモコン線のシールドアースは、
各々の室内ユニットの端子S（シールド）へ接続するか、もしくはシールド同士を
接続してください。（シールドアースは図中、破線にて示しています）
 5. システムコントローラーを集中管理用伝送線に接続する場合、必ず伝送線用給電ユニットを
接続してください。
 6. MAリモコンの配線長は最大200mまで可能です。
MAリモコンペア接続時は100m以内としてください。
 7. 室内ユニットを同一グループにする場合は、グループにしたい室内ユニット間のMAリモコン線を
渡り配線してください。
 8. 室内ユニットを同一グループにする場合は、
システムコントローラーにより登録してください。
 9. M制御遠方表示キット（PAC-CG92HK）は別売部品です。
入出力信号配線接続要領はキットの説明書を参照ください。
 10. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
 11. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて
使用してください。
 12. 過電流保護器はB種ヒューズを使用する場合について示します。
 13. 温度センサー配線を使用する場合は、PAC-SE40TS-Wに付属しているケーブルを使用ください。
10mを超える場合は、④制御配線表の仕様に従って配線してください。
温度センサーの設置方法は、温度センサー（PAC-SE40TS-W）の据付工事説明書と室内ユニットの
据付工事説明書を必ず参照ください。
 14. シールド線にて延長される場合は、次の据付条件に従って配線してください。
①動力線（強電系）とは、300mm以上離してください。
②インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器などの影響を受けないように
配線してください。
③シールド線は、室内ユニットのアース端子へ接続してください。
 15. 製品の故障、電源配線不良などにより大電流が流れた場合、製品側の遮断器と上位側の遮断器が
共に作動することがあります。設備の重要度により電源系統を分割するか、遮断器の保護協調を
とってください。
 16. 室外ユニットのアースは原則として室外ユニット側で確保してください。
ただし、室外ユニット側で確保できない場合は、室外ユニット制御箱内のアース端子と
電源ボックス内の室外ユニット用アース端子を接続してアースを確保することも可能です。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE		
	2018-08-06	2022-12-22	設備用インバーターエアコン リプレースタイプ PFHV-RP・DMJ 別売電源ボックス組込 機外配線図		
尺度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社		DWG.NO. W KQ94T908	REV. A	PAGE 2/2